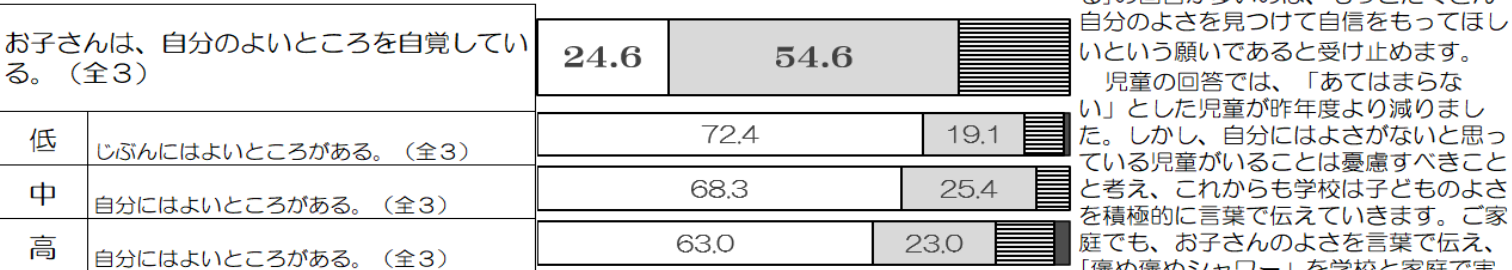
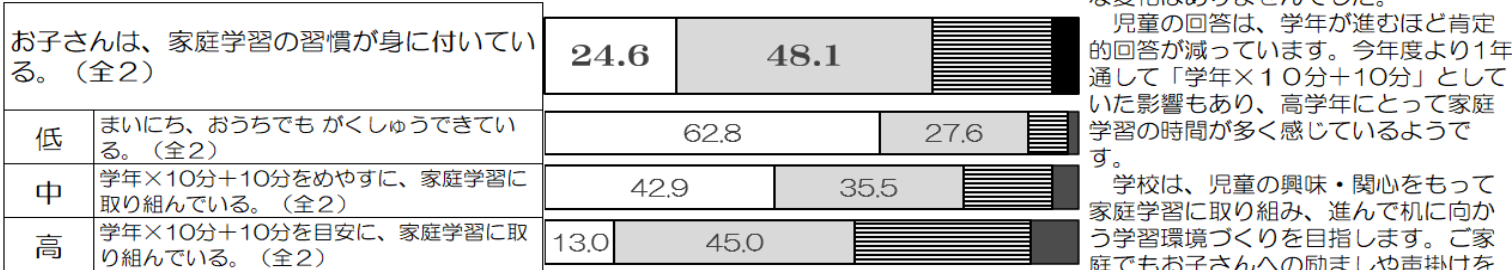
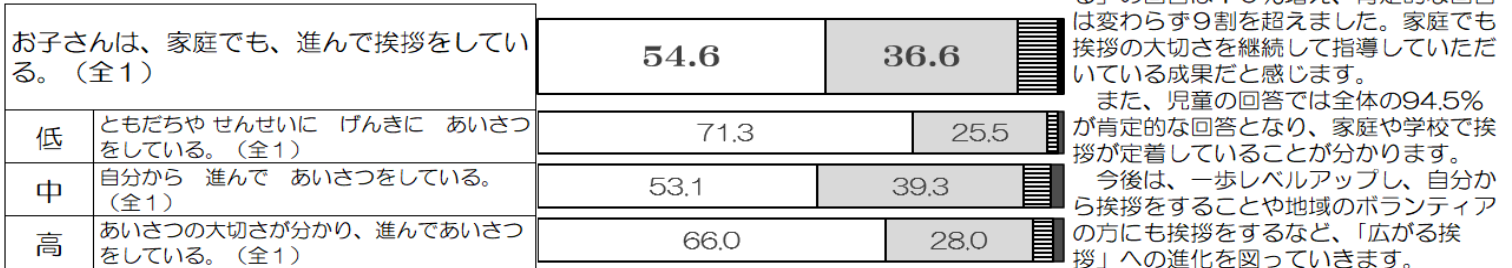
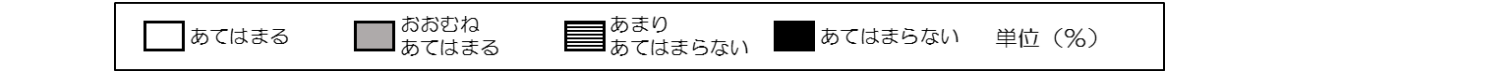




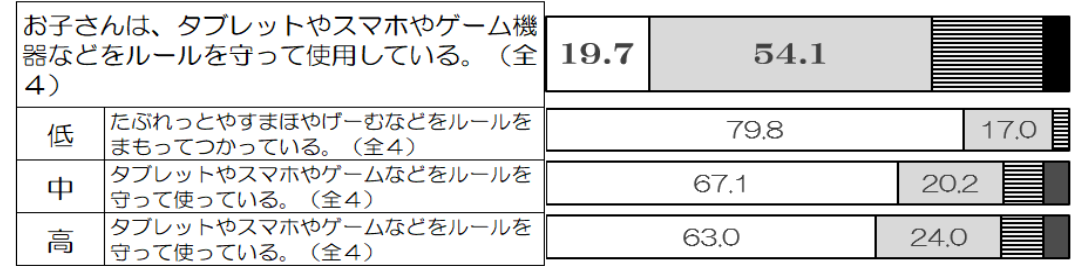
秋冷の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
1学期に、Googleフォームで回答いただきました「教育に関わるアンケート」の結果を基に、2学期からの教育活動への取組の方針を検討しましたのでご報告いたします。本校独自の取組である「アイ愛タイム（仲間づくり・集団づくり）」・「GOGOタイム（運動習慣）」の取組が4年目となりました。5年取り組むと「文化」となるそうです。愛宕小の文化を目指し、子どもたちと楽しく活動して参ります。
保護者の皆様には、教育活動に関わる13の質問と「お子さんをどんな子に育てたいか」（任意）の記述式の質問に、それぞれのお子さんについて回答していただきました。「お子さんをどんな子に育てたいか」の貴重なご意見は、裏面右下に傾向をまとめました。保護者の願いを受け止め、2学期からの教育活動に取り組んでいきます。2学期も愛宕小学校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いいたします。



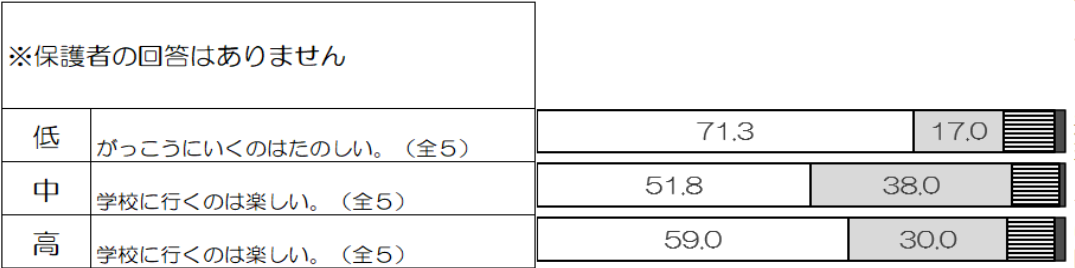
昨年度に比べ、保護者の「あてはまる」の回答は10％増え、肯定的な回答は変わらず9割を超えました。家庭でも挨拶の大切さを継続して指導していただいている成果だと感じます。
また、児童の回答では全体の94.5％が肯定的な回答となり、家庭や学校で挨拶が定着していることが分かります。
今後は、一歩レベルアップし、自分から挨拶をすることや地域のボランティアの方にも挨拶をするなど、「広がる挨拶」への進化を図っていきます。

昨年度に比べ、保護者の回答に大きな変化はありませんでした。
児童の回答は、学年が進むほど肯定的な回答が減っています。今年度より1年通して「学年×10分+10分」としていた影響もあり、高学年にとって家庭学習の時間が多く感じているようです。
学校は、児童の興味・関心をもって家庭学習に取り組み、進んで机に向かう学習環境づくりを目指します。ご家庭でもお子さんへの励ましや声掛けをお願いします。

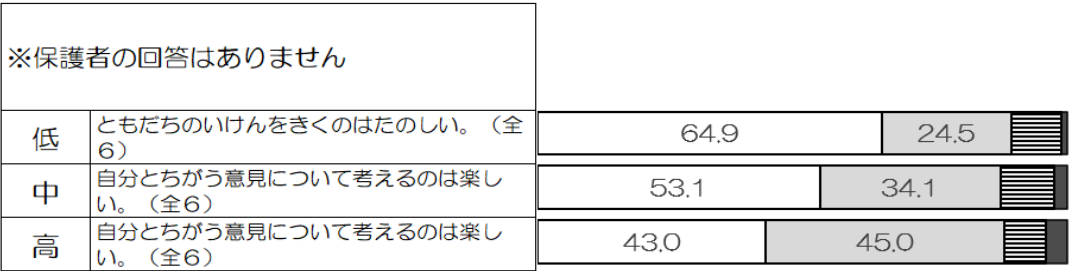
保護者の回答で、「おおむねあてはまる」の回答が多いのは、もっとたくさん自分のよさを見つけて自信をもってほしいという願いであると受け止めます。
児童の回答では、「あてはまらない」とした児童が昨年度より減りました。しかし、自分にはよさがないと思っている児童がいることは憂慮すべきことと考え、これからも学校は子どものよさを積極的に言葉で伝えていきます。ご家庭でも、お子さんのよさを言葉で伝え、「褒め褒めシャワー」を学校と家庭で実践していきましょう。



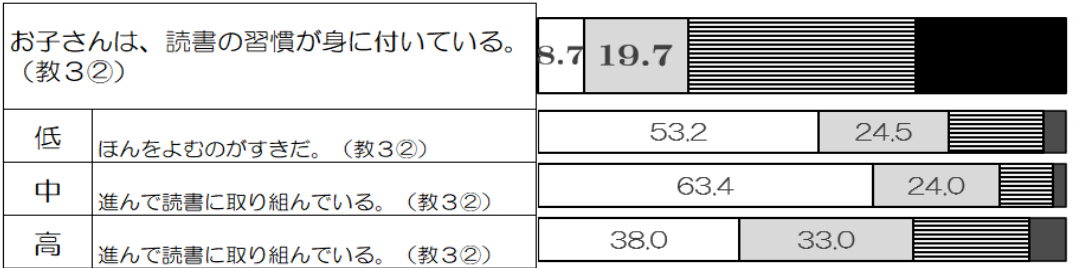
今年度新たに設けた項目です。児童の自己評価では肯定的な回答が高く、全校平均で90.5%に達しています。保護者の肯定的な回答は73.8%である一方、否定的な回答が26.2%と約4分の1を占めています。学校内での使用においては、ルールを理解し、指導と習慣化が進んでいるものの、スマホやゲーム機の家庭内のルールに対し、保護者が課題を感じているのではないかと考えます。
学校では、さらに情報モラルやSNSのルール等に関する指導やそこに潜む危険性を併せて指導していきます。



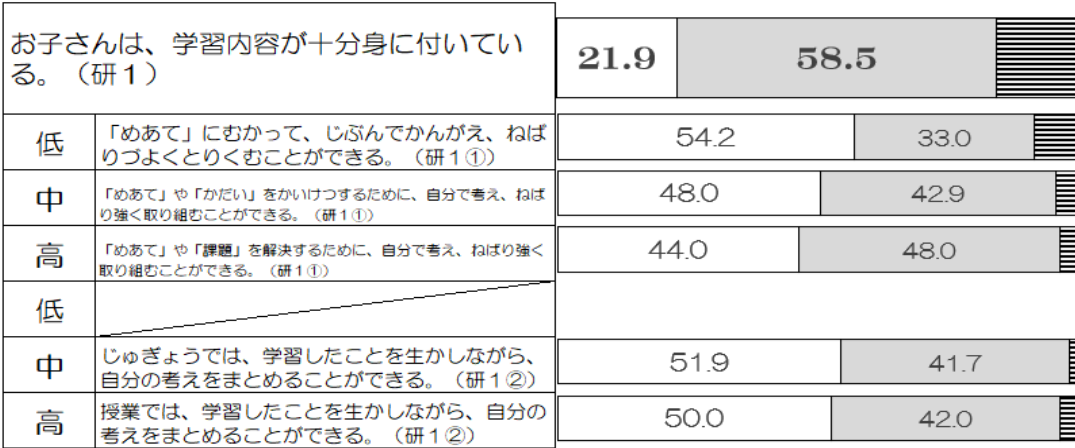
今年度新たに設けた項目です。全校平均で89%の児童が「学校に行くのが楽しい」と肯定的に回答し、学校生活に対する極めて高い満足度があることが分かりました。
学校は、否定的な回答をした児童を見逃すことなく、学校が楽しくないと思う理由を丁寧に聞き取りしていきます。
また、児童一人一人が学校に行く楽しさを実感し続けられるよう、「あたたかい学級づくり」と「個性を認め合う人間関係づくり」に注力し、分かる楽しさを実感できる授業づくりをすすめます。



全校平均で88.3%が肯定的に回答しています。児童の対話を好む姿勢がよく育ってきていると考えます。しかし、学年が進むにつれて、心理的抵抗や慎重さが生じている児童がいることも確かです。
学校は、お互いの多様な考えを認め合う活動を積極的に取り入れます。また、他者の意見を受け入れ、対話的に考えを深める話し合いのルールを共通指導し、違う意見をもつ多様性を前向きに楽しめる児童の対話力を育成していきます。



児童全体では、昨年度同様78%が肯定的な回答でしたが、保護者の肯定的な回答が28.4%、否定的回答が71.6%でした。学校の環境では本を好んで読むものの、家庭生活での自主的な読書の習慣化には至っていないもしくは、児童が学校では本を読むが、家庭では読む時間をもていないことが考えられます。
学校は、読み聞かせの推進や家庭学習の中で読書の時間も設けるなど、家庭でも本を読む時間を仕掛け、本を読むことの楽しさを伝えていきます。



児童は肯定的な回答が、低学年で87.2%、中学年で90.9%、高学年で92.0%で、全校全体でも90.1%と極めて主体的に学習に取り組んでいることが分かります。一方で、保護者の「お子さんは、学習内容が十分身に付いている」への肯定的な回答は80.4%であり、約10ポイントの意識差が存在しました。
学校は、2学期も「めあて」と「振り返り」を明示する授業スタイルを徹底し、児童が自分で学びのプロセスを見通せる「子どもが主語となる授業」と自分で問題解決できる家庭学習を推進していきます。

お子さんは、多くの職員から見守られている。（特1）		55.7	41.5
低	こまったときに、せんせいがたすけてくれる。（特1）	73.4	22.3
中	こまったときに、たんにんの先生のほかに、助けてくれる先生がいる。（特1）	74.8	23.9
高	困ったときに、担任の先生の他にも相談できる先生がいる。（特1）	71.0	20.0

児童の肯定的な回答は、全校平均でも94.9%となり、児童自身が「困ったときに担任以外の多くの先生方も優しく助けてくれる、相談に乗ってくれる」と実感し、学校で多くの先生方に見守られている安心感を強くもって学校生活を送っていることが分かります。ただし、否定的な回答をした児童がいたことを見逃すことなく、教育相談等を行い、丁寧に対応していきます。

学校は、複数の教職員での組織的な見守りや専門チームによるきめ細かな連携指導体制を継続していきます。

お子さんは、学校のきまりを守って生活している。（生1）		48.6	50.3
低	がっこうのきまりをまもってせいかつしている。（生1）	74.5	25.5
中	学校のきまりを守って生活している。（生1）	72.0	21.5
高	るよう、自分で考えて行動することができています。（生1）	65.0	32.0

児童の肯定的な回答が全体で97%、保護者の肯定的な回答は、98.9%でした。昨年度同様、ほとんどの児童がきまりを守って生活し、学校のルール指導が非常によく機能し、保護者の皆様のご協力のもと、家庭にも定着していることが分かります。

学校は、今後も時間を守ることや挨拶など、当たり前のことができるように、そして自分で考えて行動できるように指導していきます。

お子さんは、学校に楽しく通うことができています。（生2）		65.0	30.6
低	アイあいタイムなどで、ともだちと かかわることを たのしむことができています。（生2）	77.7	16.0
中	アイ愛タイムなどをとおして、友だちとの交流を楽しむことができています。（生2）	73.4	21.6
高	話を聞いて交流することを 楽しむことができています。（生2）	72.0	22.0

全校平均で89%の児童が「学校に行くのが楽しい」と肯定的な回答し、学校生活に対する極めて高い満足度があることが分かりました。また、今年度4年目を迎えるアイ愛タイムなどで、友達と関わることの楽しさを、9割を超える児童が実感しています。また、保護者も95.6%の肯定的な回答でした。

今後も、お子さんが友達と関わり、楽しく学校に通えるように学校は取組を継続していきます。

お子さんは、事故やけがなど、安全に気を付けて生活をしている。（生3）		50.3	43.7
低	あぶないことをせず、けがなどにきをつけてせいかつすることができています。（生3）	73.4	19.2
中	あぶないことをせず、けがなどに気を付けて生活することができています。（生3）	59.5	33.0
高	周りをよく見て、けがなどに気を付けて生活することができています。（生3）	73.0	20.0

昨年同様に、児童（92.6%）、保護者（94%）ともに肯定的な回答が9割を超えています。児童は安全に気を付けて生活しようとし、ご家庭でも声掛けをしていただいていることが分かりました。

学校では、9月に予告なしの地震の避難訓練を実施しました。児童は慌てることなく、自分の頭を守り、素早く机に潜っていました。自分の命を守るために、どのように行動したら良いかを発達段階に応じて、今後も指導していきます。

お子さんは、友達と良好な関わりをもち、安心して学校生活を送っている。（対1）		52.5	44.8
低	がっこうで、ともだちとなかよく、あんしんして すごしている。（対1）	81.9	16.0
中	学校で友だちとなかよくすごし、安心して生活している。（対1）	68.3	27.9
高	学校で友達との関係がよく、安心して生活している。（対1）	77.0	19.0

昨年度と文言を変更しています。児童全体で96.7%が肯定的な回答をし、たくさんの児童が友達と安心して学校生活を送っていることが分かりました。保護者の肯定的な回答が97.3%と高く、お子さんを学校に安心して通わせられていると実感されていることが分かりました。一方で、否定的な回答があることを見逃さず、今後も、学校は児童が安心して相談できる居場所づくりに邁進していきます。

お子さんは、積極的に体を動かしたり、運動をしようしたりしている。（保1）		49.7	32.8
低	たいいくのじかんに、すすんでうんどうをしている。（保1）	79.8	17.0
中	体育の授業で、めあてをもって取り組んでいる。（保1）	59.4	33.0
高	体育の授業で、自分のめあてを達成するために、工夫して取り組んでいる。（保1）	56.0	38.0

体育の授業等においてめあてをもち、進んで、あるいは工夫して運動に取り組む児童の割合が全校平均で94.5%と極めて高く、学校での計画的な体力向上に向けた指導や4年目を迎えるGOGOタイムの成果を感じます。また、保護者の肯定的な回答が昨年度同様8割を超えました。

9月は運動週間確立期間です。学校は、体育の授業だけでなく、GOGOタイムや委員会での身体を動かす活動、外遊びなどを通して、運動することの楽しさやよさを伝えていきます。

お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん等、正しい生活習慣が身に付いている。（保2）		42.6	44.3
低	はやね・はやおきをしてあさごはんをたべている。（保2）	51.1	36.2
中	早寝・早起き・朝ごはんをいしきするなど、きそく正しい生活をしている。（保2）	51.8	30.4
高	早寝・早起き・朝ごはんなど、正しい生活習慣を意識して過ごしている。（保2）	47.0	39.0

児童の肯定的回答は全校平均で85.3%、保護者全体でも86.9%と、昨年同様8割を超えました。しかし否定的な回答も児童全体で14.7%、保護者で13.1%見られました。朝ご飯を食べていない児童が1割程度いるようです。

学校は、2学期から規則正しい生活のよさや、朝ご飯を食べる意味などを今一度児童に指導しています。食育の動画を給食の時間に見たり、歌とダンスで生活リズムの良さを楽しく学んだりしながら、「早寝・早起き・朝ご飯」を進んで行おうとする素地を育てていきます。

※保護者の回答はありません			
低	つくえやロッカーのなかをきれいにしている。（保3）	57.4	33.0
中	机やロッカーの中をせいりせいとんしている。（保3）	58.2	37.9
高	整理整頓の大切さを理解して生活している。（保3）	53.0	43.0

「机やロッカーの整理整頓」を美しく保つ態度に対する児童の自己評価は、全校平均で94.1%と極めて高く、昨年度よりも5%増えています。児童の美化意識が高まり、学習環境を整理することへの意識が育ってきていることが分かりました。

2学期から学校では、「せいとんデー」と称して、月に一度自分の机やロッカーを整頓する日を設定しました。さらなる美化意識の向上を目指し、整頓することのよさを実感できるよう指導していきます。

※保護者の回答はありません			
低	がっこうには、テレビやボールなど、へんきょうにひつようなどうぐがそろっている。（事2）	88.3	9.6
中	学校には、テレビやボールなど、勉強にひつような道具がそろっている。（事2）	77.2	22.8
高	学校には、テレビやボールなど、学習に必要な道具が整っている。（事2）	83.0	13.0

児童の肯定的回答は、全校で97.9%に達し、学習用具が非常に充実していると感じていることが分かります。

夏休み中に、PTAの花壇整備、教室のワックスかけや教材室などの整理整頓を行い、2学期からも児童が気持ちよく学校生活が送れるように物品の購入以外の教育環境整備に努めました。これからも、児童が気持ちよく安全に生活できるよう、明るく安全な教育環境整備に努めます。保護者の皆様も、PTAの活動のご協力をよろしくお願いします。

～「お子さんをどんな子に育てたいか」のご意見～

保護者の意見では、「思いやり」や「礼儀・マナー」といった、他者と良好な関係を築く社会性を重視する声が多く挙げられています。同時に、周囲に合わせるだけでなく「自己肯定感をもち、自分の意見を伝える」「嫌なことは断る」といった、自分軸や芯の強さを望む傾向も目立ちます。さらに、失敗を恐れず自ら考え行動する主体性や、困った時にSOSを出せる柔軟性など、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力を求める声も多く見られます。総じて、周囲への配慮と自己尊重のバランスを取りながら、心身ともに健康で、自分らしく前向きに人生を楽しんで成長してほしいという親の温かい願いが強く反映された結果となっています。

アンケートのご協力ありがとうございました。

